

谷川友太 ～よいオリエンテーリングをするためにがんばる～

3年連続で全日本タイトルを獲り、4つ目の全日本タイトルに王手をかける谷川友太。現在の日本トップ選手の1人でありながら、これまでのトップ選手とはどこか違う雰囲気をもつ不思議な選手だ。彼はなぜオリエンテーリングを続けるのか？全日本大会を1週間ほど前に控えたある日、聞いてみた。

(取材日 2016/3/10)

最初はやる気なかった

—まず、これまでのことをお聞きしたいのですが、オリエンテーリングは大学に入ってから始めましたか？

はい。高校は弓道、中学は剣道でした。大学に入ってオリエンテーリングを選んだのは高校で一緒だった人に誘われたのと、活動が週2回だったのが大きいです。

名大は平日1回ミーティングと、土日の大会参加だけだったので。最初はあまりやる気はなかったんです。

—それがいつごろからやる気に？

1人でトレーニングするようになったのは3年になってからです。それまではインカレとか「こんな長い距離走るのがいや」と思っていました。

—でも1年目からインカレはエリートクラスを走っていますよね？

はい。1年目から7回走ってます。まあ当時は枠が多かったからですけどね。ミドルは予選もあったし。でも2年が出たロングはもう最後足がつって、全然走れなくて、最後女子選手にも抜かれてました。

—そんな風だったのがなにがきっかけでやる気に？誰かに感化されてとか？

なんだったかな。誰かに言われてやるなんてことはないですよ。ただその頃から毎週のように大会に参加するよ



うになりました。名大はインカレや夏合宿など参加しなきゃいけないイベントがあるんですが、2年まではそういうのにしか出てなかったんですけど。

ああ、思い出した。片塾に入ったからですかね。部内サークルみたいな感じのグループ。なんとなく入ったんです。その人たちはみんながんばっていて、それからがんばるようになったんです。

—トレーニングの効果は抜群で3年目で成績は一気に向上。最下位争いから入賞が狙える位置まで行きました。

はい。でも3年のときはインカレロングの東海セレクション(兼東海インカレ)を通れる気がしませんでした。

当時、東海は4枠だけになっていて、先輩や同級生、後輩に速いのがたくさんいた。その中の4人に入れる自信はなかったです。その中の1人くらいに勝って東海インカレ6位入賞が出来たらいいなと思ってました。けど3位になって通れたんです。あれは嬉しかったですよね。

—一番のインカレロングも12位に躍進。4年生ではやはりロングで5位に入賞しました。

4年ではインカレで入賞できるかなと思えるようになっていました。ミ

ドルはあんまりよくなかったですけど。

1人では続けられなかった

—しかし入賞こそしていますが、そこまで目立つ印象の選手でもないですね。僕自身、学生時代の谷川くんのことを見ているはずだけどあまりよく覚えていない。ただそんな選手が今や世界選手権代表で、全日本でも勝てるようになりました。卒業後も高いレベルでオリエンテーリングを続けてきたのはなぜでしょう？

う～ん、まあ理由みたいのはないです。止める理由がなかったというか。もし止めたら土日やるのがなくなっちゃうし、当たり前のように続けてました。

ただ続けるのは1人だったら辛いと思いますよ。

—仲間の存在は必須だと？

はい。

—現在はOLCルーパーに所属していますが、卒業後すぐに入ったのでしょうか？

いえ、ちょっとしてからです。卒業して1年ちょっとしたくらい。最初は

断ってました。卒業後の囲い込みみたいな感じの中でどこかのクラブに入るのは嫌だったんで、ちょっと様子見てから入ろうと思って。

ただ土日何もない日があったんです。で、その土日たまたまルーパーの根の上高原大会の試走か何かがあったんです。この試走に行けばオリエンテーリングできる！と思って、そこでクラブに入って参加したんです。

—へえ、オリエンテーリングする機会を求めてクラブに入ったんですね。そこで知り合ったルーパーの仲間の存在がここまで続けるためには不可欠だったと？

はい。オリエンテーリングしたくて。ただクラブとしてはそんなに活動が多いわけでもないのでクラブ員全員との活動というのは少ないんですけど、ヒロシとかマツケン（※1）とか、世代が近い人と、大会後に一緒に反省しに走りに行ったりしてたのがよかったです。

楽しむためにトレーニングする

—普段のトレーニングは？

走ることが主体ですね、やっぱり。

—それは1人で？

1人ですね。クラブでは普段集まることはできないので。

—出身である名古屋大もそう遠くないですが、後輩たちと走るとは？

普段はないですね。土日、練習会で一緒にやることはありますけど。急に行くことになって迷惑かけたりしてますが。

—1人で走るの毎日？月間どのくらい走っているものですか？

できる限り。距離はこんな感じです。（走行記録を付けたアプリを見せてくれる）

一月300キロ以上はコンスタントに走っていますね。多いときは500キロを超えています。ある程度目標設定などトレーニング計画を立てているんでしょうか？

クラブの仲間と強化月間を決めて、そのときは一生懸命走ります。そういうのがないとなかなか走らないので。

—走る以外のトレーニングは？先ほど（翌週に開催される）全日本大会の旧マップを見たりしてましたね。

トレーニングというか予習です。丸も鉛筆ころがして止まったところに打つ、くらの感じでそんな熱心にしてるわけではないです。結局当日次第だなと思うんで、気休めです。

でも最近走るのはさぼり気味なんです。走らなくても速くなる方法はないかなと思って。走ってもあんまり変わらないなと思い始めて、別のなんかいい方法がないかなといういろいろ考えています。

—どんなことを考えていますか？

家から出ずに早くなる方法を考えたと思っています。布団の上で暴れてみたり。まあ、なんとも言えないです、今は。結局、家の外で走る方がやっぱりよいかと思います。

—企業秘密？でもこう言うのは失礼ですがトレーニングプランや方法はあまり考えていないと思っていましたが、意外とよく考えながらやっているんですね。なぜトレーニングをするんでしょうか？

それはやっぱりオリエンテーリングのためですよ。ちゃんと走れた方がオリエンテーリング楽しいじゃないですか。走れないとレースきついし、負けるとやっぱり嫌ですから。

—誰に負けるのが嫌？

う〜ん。。。誰と言うわけではなく。すごく速い人に負けるんだったらわかるんですけど、同じくらいとかそうでもない人に負けるんだったら嫌じゃないですか？

世界に行きたいわけではない

—そんな同じくらいのレベルのライバルたちと競い合う全日本大会が来週に迫っています。

アジア選手権のあった2010年から全日本は毎年エリートクラスに参加しています。2009年の足柄は21A、その前の箕面は20Eに出られたけど、当時はまだ箕面が遠いと思っていて不参加。それより前は全日本大会の存在すら知らなかった。今はもう重要レースです。

—全日本リレーでは今年度、愛知県と

して初優勝もしました。これで全日本タイトルは残すはロングのみです。

はい。一週間後には全部持ってると思います。うまくいけば。でも全部うまくいくとは限らないですけど。

去年の松本のスプリントも勝ちたかったんです。すごいレースだったし。でも尾崎、真保が速かった。けどあれはとてもいいレースだった。

—世界の舞台に向けては？

今年の世界選手権には行かないです。世界選手権も本当は行きたいわけではないんです、遠いから。去年も選ばれてしまったから仕方なく行ったというのが少なからずある。

別に目標とかあってやっているわけではないので。なるべく近くでオリエンテーリングが楽しめればいい。だからそういうところにはもっと目標を持ってしっかり取り組んでいる人が行ったほうがよいと思いますよ。

結果だけみたら誰が出ても正直今は変わらない。だったらこれからのことを考えればもっと先を見てやっている人が行ったほうがよい。こんなこと言ったら本当はいけないんでしょうけど。

—このあたりは僕のやってきた感覚とはちょっと違いますね。僕は例えば世界選手権で予選を通過したいと言った目標があって、それに対して頑張るといふ流れでした。谷川さんはなぜ苦しいトレーニングをしてまでオリエンテーリングを続けるのでしょうか？

う〜ん、、、

（長考の末）

やっぱりうまく回れるのが楽しいから。それで勝つたらなおのこと嬉しい。そのためにトレーニングもしてる。よいオリエンテーリングができるなら世界とかはあんまり関係ないかも。

楽しいことが大事

—これからオリエンテーリングを続けたい？

はい。

—続けるために考えていることは？

健康が大事です。年配の人に聞くと目が大事だとは思いますが。M80で勝つためには目をいかによくしておくかが大事だと思っています。エリートは出ら

れる限り出たい。でも 35 歳になったら一回 35A に出て洗礼を浴びたい (笑)

—長く続けるためにはそもそもオリエンテーリングができる環境がないとできない、という問題もあります。

最近よく言う活性化ですか。でも活性化する必要ってありますか？

—大会がなくなればオリエンテーリングを楽しむ機会は減るかもしれませんよ？

でも大会たくさんありませんか？愛知にいたらあんまりそういうの感じないです。今では関西も近いと思っているし、そう考えたら近くで大会はいっぱいある。近くで小さくてもいろんな大会があることが一番です。

でも、悪いところでは開催しないほうがいいとは思いますが？

—悪いところ？

オリエンテーリングをする場所ではないようなところ。走れない、楽しくないところ。そういうところでやる大会には JOA としては公認をつけるべきではないとも思います。もちろん公認ではない大会を開く分にはよいとは思いますが。オリエンテーリング楽しくないのはいろんな面でよくない。

—そこでしか大会が開けなかったら？

そこでしか開けないということはないと思います。それだったら普段からよく入っているところでも、オリエンテーリングになるところでやったほうが楽しい。無理してそんなところでやる必要はない。

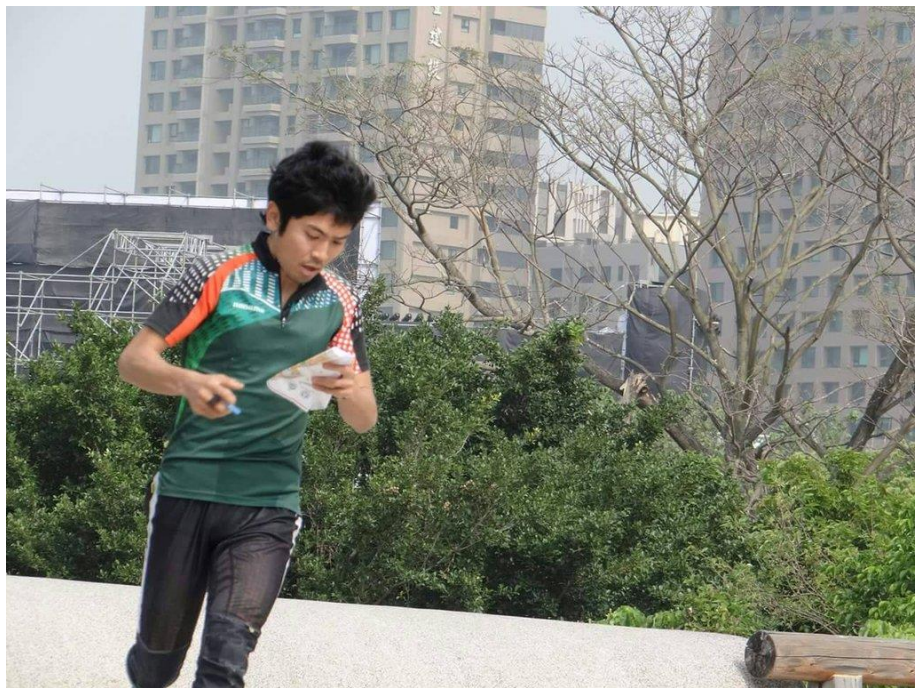
—オリエンテーリング以外のロゲイニングなどにも参加されています。こちらもやはり楽しみながらやっている？

はい。好きですよ。12 時間とかもつと長いのもやってみたい気もするけど、そんなに走れるかな。

でも装備を自分で買い揃えなきゃできないやつはそこまで。あまりお金をかけずに楽しめるならいい。興味はあるんですけどね、OMM とかアドベンチャーレースとか。その 1 回のために買って、そこまで真剣にトレーニングするかなあって思うと。

—他、最近興味があるものは？

OCAD 使えるようになると楽しいかなって。OCAD は持っているので家の周り



の地図を作ってみたりはしたんですけどまだよくわからない。ロゲイニングの地図とかどうやって作ってます？レーザー測定の地図とかどうすればいいんですか？

—来週の (全日本大会前日に開催された) OCAD セミナーではまさにそんなことをやるようです。

そうそう、出ようと思ってたんです。それでちょっと使えるようになって何かできたらいいですね。

—それを仕事にするなんて構想は？

そういうんじゃないんです。ただ楽しいかなって、それだけ。

オリエンテーリングを楽しむ機会を追い求めるうちに日本のトップにまで達してしまったというのか。多くのトップ選手に感じられる緊張感はあまりなく、どこかふわっとした返答に、こちらが拍子抜けしてしまうことも。しかし、仲間の存在、オリエンテーリングの本質的な楽しみなど、彼が持つオリエンテーリングへの熱い塊をちらちらと覗かせてもくれる。そんな彼がこの後どこまで記録に残る選手になっていくのか。興味深く追いかけてみたい選手の 1 人であることは間違いない。

※1 OLC ルーパーの菅谷裕志氏と松井健哉氏

ToO は、収録しきれなかった未公開部分を含め O-Support のブログにも掲載しています。ぜひご覧ください。

O-Support ウェブサイト:

<http://www.o-support.net>

(小泉成行)